

学校だより わかば



学校教育目標 心豊かで 個性が輝く 子どもの育成

大変な年明けになってしまいました。まずは、能登半島での地震、羽田空港での航空機事故に際して、被災された方々に心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

年頭にあたり、謹んで新春のお慶びを申し上げます

校長 中村 英明

明けましておめでとうございます。皆様にとって輝かしい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。保護者や地域の皆様方におかれましては、旧年中は本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。令和6年という年が子どもたち、保護者や地域の皆様方にとって、心穏やかに充実した素敵な一年間でありましたようにご祈念申し上げます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

学校だよりの12月号で「和風月名」(旧暦での各月の呼び方)について、記したところですが、1月の「和風月名」が「睦月(おつき)」となっています。この月名の由来は、「正月に親戚などが集まって、睦みあうこと(親しくすること)を略して呼んだことにある」と言われているそうです。冬休みは皆さんそれぞれに規制のない年末年始を過ごされたことと思います。中には久しぶりに親戚や友人たちと逢ったり、遠くに出かけたりされた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

さて年始にあたっては、今年目標(めあて)をたてたり、夢や希望に向かって早速に行動を始めたりした方も多いいと思います。4月からの新年度に備えて、進学や進級を念頭に「生活面」「健康面」「学習面」などいろいろな面での心や身体の準備も必要となります。学校では「中学生になったら・・・」「〇年生になったら・・・」ということ子どもたち自身に意識をさせながら、日々の教育活動に取り組んでまいります。ご家庭でも引き続き、お子さんへのあたたかい励ましと優しい眼差しでの見守りをお願いします。

また、年末に流行していたインフルエンザですが、冬休み明けの拡大は見られず、一安心といったところですが、学年のまとめを行うこれからの時期にお子さんがお休みすることのないよう引き続き体調管理にご留意ください。